

JAC 埼玉支部 2023 年 7 月山行 ～北アルプス 焼岳～ 山行報告



2021 年に引き続き(去年は焼岳の「噴火警戒レベル」アップに伴い中止)、新入会員の方、また「山研」未体験の方を主体に、山研泊を絡めた「焼岳」登山を実施しました。残念ながら、梅雨末期特有の降雨となりましたが、「百名山・焼岳」と上高地の魅力に、参加者のモチベーションも高かったように思いました(詳細は参加者の感想文を参照)。濃霧の頂上を経て、焼岳小屋で休憩後、岩場・梯子を慎重に下り、全員が事故もなく山研に到着。食事・入浴とともに、管理人・山田氏も加わっての歓談を楽しみました。山研泊後の翌日に計画していた「徳本峠」は、相変わらずの降雨が回復見込み無しにより上高地散策に変更、有名な「山のひだや」で「スイーツ」を堪能しました。降雨の中での登山は厳しさもありますが、参加者にとっては貴重な経験になったかと思います。(CL：稲越)

■行 程 令和5年7月8日(土)～9日(日)

■場 所 北アルプス 焼岳

■宿泊場所 日本山岳会 上高地山岳研究所

■集合場所 新中の湯登山口

■集合時間 午前7時00分

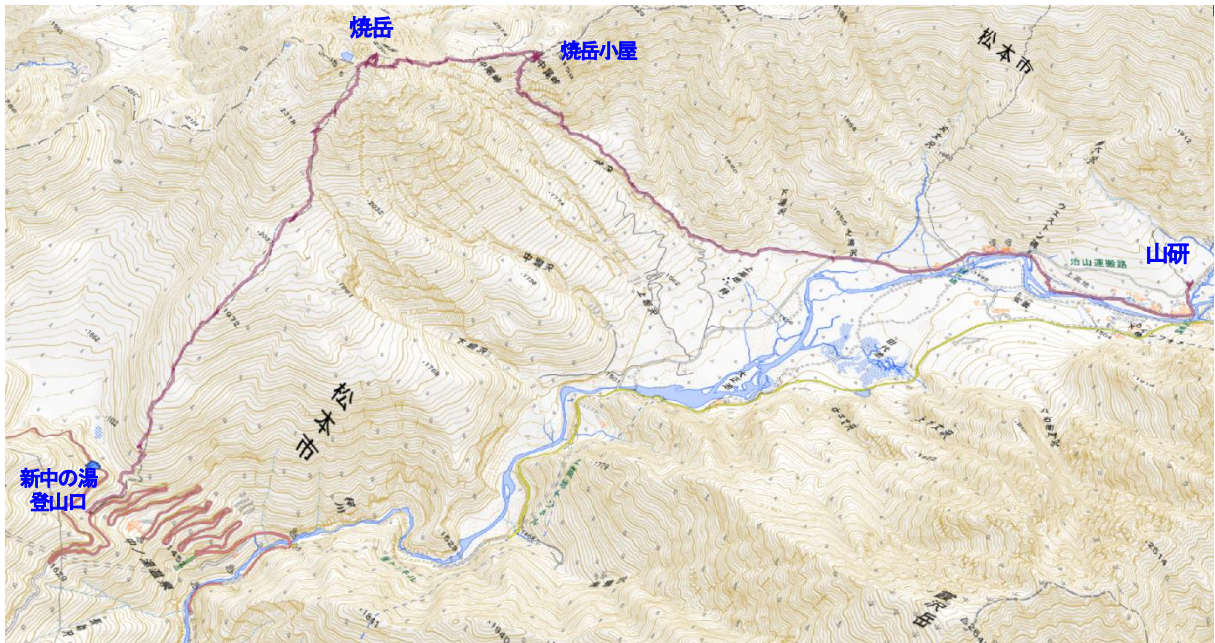
【行程】

(一日目) 歩行距離：約 11.8km 累積標高差：約 1,180m

● 7月8日(土) (休憩を含む)

登り：新中の湯ルート 新中の湯登山口発(7:00)～広場～焼岳北峰(10:45)

下り：上高地ルート 焼岳北峰～中尾峠～焼岳小屋(12:10)～上高地(山研)(15:40)



ルート (出典：国土地理院 Web 地図)

(二日目)

● 7月9日(日)

降雨が治まらないため、明神「山のひだや」を目指したスイーツ散策に変更(好評でした)。山研で解散。



新中の湯登山口



広場を目指す



霧の焼岳山頂



中尾峠



焼岳小屋



無事に下山(上高地ルート登山口)

【参加者の感想】(順不同)

【磯崎佳奈】朝からの土砂降りですが、最初は修行の気分でした。が、途中で限界点を突破したらしく、その後はとても楽しく歩くことができました。ガレ場も鎖も梯子もとっても楽しかったです！好天の時にノーマルな状態でリトライしようと思います。

【吉田湖恵】焼岳の山行は中の湯温泉旅館に前泊でスタート。とても楽しみにしていましたが当日の天気がどしゃ降りの予報にテンション↓。そして予報適中で更に↓。あのお天気で山行を決行される山岳会のハードルの高さを改めて実感しました。道中滑らないように！と私にとってハラハラドキドキの連続でしたが全員無事に下山できたことが何よりでした。翌日の徳本峠は中止になり正直ホッとしました(ごめんなさい)。上高地の散策は癒やされましたね。今回あいにくのお天気だったので焼岳はぜひリベンジしたいと思います。メンバーの皆さん、ありがとうございました。

【吉田由美】前日の青空から一変天気予報通り、朝から雨の山行となりました。雨の中を2444mの山に登れるだろうか？稜線の風は強くないだろうか？上高地までの長い距離を歩けるだろうか？不安だらけの弱気の虫が騒ぎだしました。それでも、雨の中濡れるのは当たり前、何より皆さんが明るくて私の気持ちも軽くなっていきました。下りの急坂、1枚岩の鎖場、長いハシゴ、リーダーのアドバイスを聞きながら無事にクリア。山頂は真っ白で、強く吹く風の為長くは居られませんでしたが、上高地に着いた時歩ききることができた達成感で充実した気持ちになりました。雨の中を歩く時の雨対策、貴重な体験、沢山勉強になりました。山行委員会の皆さま、ご一緒できた皆さま、山研の山田さん、大変お世話になりました。有り難うございました。

【宮崎則子】7/7。中の湯温泉で前泊、ゆっくり温泉と美味しい料理を満喫していると雨がザーザー降りだして来ました。まさか「こんな雨の中、登山なんて無理」これが前泊組の率直な意見でした。翌7/8。朝から雨足は収まらず、集合場所へ。皆さんやる気満々で待っています。出発！黙々と前の人の足跡を見ながら登ります。展望はゼロ、植物愛好家は雨の中でもこまめに写真を撮ってる姿に感心です。焼岳頂上標識を撮影するのが精いっぱい直ぐに下山。「山研」到着、安堵。ゴアテックスの効果も空しく下着までグッショリ濡れました。乾燥室とお風呂が有難かった！7/9。今日も雨。徳本峠山行は中止。代わりに上高地ケーキ屋さん巡り。good choice! その時々には辛い事もりましたが、無事に帰って今このような感想文を書いていると、色々な事が学べたので、雨中登山もいい経験だったなあって思います。有難うございました。

【行方真由美】去年の焼岳山行が中止になって念願の山行でした。残念ながら大雨、雨の中の登山は久しぶりでザックの雨対策が足りなかったのが今回の反省点です。雨で眺望は無かったのですがハシゴや岩場の通り方など稲越さんからのアドバイスや山研での参加メンバーとの交流、翌日の上高地の散策など思い出の多い忘れられない楽しい山行になりました。参加メンバーの皆様ありがとうございました。

【高倉洋一】私にとっては下見も含め上高地に行けただけでも嬉しく、焼岳山頂付近のかつての溶岩や硫黄の臭いも印象的でした。7月であっても雨の中全身が濡れて風による寒さを感じ、いろいろな気づきを得た山行でもありました。

【松尾渡】7月8日の朝6時半に「中の湯温泉旅館」を出発した時から、一日中強弱のある雨が降り続く焼岳山行であった。焼岳の全貌や周りの山々は雲で覆い隠され、緑あふれる山々や木々は想像するしかない。頂上の焼岳指標を見ても満足感は少ない。逆に、1年前に甲斐駒を登った時に頂上で風速20mの風雨に体を横に流され、低体温症手前になりかけた記憶が蘇る。雨の焼岳は靴の中まで濡れたが、体が冷えることはなく、上高地まで黙々と無事下山できた。雨の登山も「貴重な体験として役に立ちますよ」と話を聞くが、やはり好天の焼岳に憧れる。また、次の機会に山行したい。

【町田美春】前日までの天気は夏日の猛暑にも関わらず、楽しみにしていた焼岳山行当日は朝から雨でテンションが下がってしまいました。リーダーより前もって、雨天に備えた準備をするようにと連絡があり、万全の準備をした筈でしたが濡れました。登山道は沢状態、あちらこちらぬかるみ、木の根や石は滑り慎重に歩を進め転ばないように必死でした。眺望はほぼ望めず残念でしたが、様々な種類の花々が私達の目を楽しませてくれました。ひとつずつ花の名前を教わりながら歩きましたが、ひとつ覚えればひとつ忘れ自分の記憶の悪さを実感しつつ楽しいひとときでもありました。山研は既に体験済みではありましたが、管理人の山田さんから色々なお話も聞け楽しく過ごすことができました。降雨の焼岳山行でしたが、なかなかできない経験であり、雨対策の見直しや降雨山行の注意点等良い勉強になりました。天候の良い時にリベンジし、その時はまた山研を利用したいと思います。

【倉崎知恵】防水対策し、覚悟を決めて挑めたことと大勢の参加者と一緒で心強く、思っていた以上に楽しむことが出来ました。また、参加者の皆さんと沢山お喋り出来、上高地でまったり過ごせたのも良かったです。ありがとうございました。

【塚越和子】前日の青空から一変しての雨の中の焼岳でしたが、頂上を踏み、黄色に変色した岩壁を、仰ぎ見た時、また晴天の日に登り直したいと、思いました。今回の経験で、雨対策、完璧です。

【土田利恵子】焼岳お疲れ様でした。久しぶりの雨の山行でした。それも靴の中はビショビショ、レインを脱いでウェアも汗？雨だかわからないほどの濡れでした。山頂は素晴らしい眺望ではなく強風と痛い雨で早々の下山でした。体力、技術力不足もあり皆さんに迷惑を掛けない様に何とか付いて行こうと頑張り下山後五日間筋肉痛になりました。とても思い出に残る山行になりました。ありがとう御座いました。

【萩原みか】雨天の山行は覚悟して、装備も防水対策をして臨んだ焼岳であったが、想像以上の本降り雨で靴の中までびしょ濡れは、私は初めてだった。悪天候で景色を見られなかった分、真剣味を相当増して、沢状態の登山道、濡れた梯子、狭い岩場の通過に神経を尖らせた。体調にも頻繁に配慮するタイミングを計る事が出来たと思う。CLからの事前の指示があった上だが、体得できるのはやっぱり実地の体験だった。敷居が高いと感じていた山研利用も叶い、このような機会を作っただけに感謝します。

【平本真二郎】今回の山行は先週より雨の予報となっていましたので、雨を覚悟で参加しました。しかし、スタートから山研到着まで雨でしたのでスキルは上がりましたが、山域が見えず少し残念ではあります。只、支部の方々と山小屋風の山研に宿泊し、楽しい話が出来たので、今後も支部山行に積極的に参加して行きたいと思っています。

【平本美恵子】予報雨量1ミリを信じて登り始め、徐々に雨がやんで霧が無くなり焼岳がドーンと姿を現すと願いながら進みました。が、山頂では更に強風で雹かと思うくらいの雨で顔が痛かったです。いつでも、「焼岳よりは大丈夫」といえるような悪天候スキルが上がる貴重な山行でした。山研では、ワイワイと楽しい時間を過ごせて幸せでした。

日本山岳会 上高地山岳研究所

